



かごしま 市民のひろば

環境 特集号

平成20年(2008年)
12月1日発行



築きます 環境にやさしいまち

今月は地球温暖化防止月間。郷土「かごしま」の環境を、そして地球の環境をわたしたち自身で守り、次の世代に引き継いでいくためにはどうしたらよいかを考えるきっかけづくり、この特集号をご活用ください。
【環境政策課 216-1296】

連日多くの方が訪れている「かごしま環境未来館（城西二丁目）」

10月10日、かごしま環境都市宣言を行い、かごしま環境未来館がオープンしました

市民の環境活動の拠点「かごしま環境未来館」

かごしま環境未来館は、市民一人ひとりが今日の環境問題を考え、環境に配慮した行動に結びつけるための活動拠点として開館しました。

あなた自身の行動が地球とつながっていることを、かごしま環境未来館でぜひ実感してください。

かごしま環境未来館の役割

- 環境学習の推進
- 環境情報の収集提供
- 環境学習・環境保全活動の支援
- 環境を考え、行動する人の育成
- リユース・リサイクル活動の促進



- 場 所 城西二丁目1-5(甲突川沿い城西中学校隣)
- 開館時間 9時30分～21時(日曜、祝日は18時まで)
- 休館日 月曜日(祝日のときは次の平日)、12月28日～1月4日
- 交 通 「新照院」バス停か「草牟田」バス停下車徒歩5分
【かごしま環境未来館 806-6666】

本市が目指す都市のすがた

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、今や人類の生存基盤に関わる差し迫った課題となっています。このような中、本市では、環境にやさしい持続可能なまち「かごしま」を築くため、市民、事業者の皆さんと一緒にさまざまな取り組みを進めています。



地球温暖化フォーラム2008

◇内容 ①講演会
・テーマ 地球温暖化時代の市民の役割
・講師 末吉 竹二郎氏 (市環境アドバイザー)

②事例発表(環境に配慮した取り組みをしている市民、事業者)

◇対象 どなたでも

◇日時 12月14日(日)13時30分～17時

◇場所 かがしま環境未来館

◇申し込みなど詳しくは環境政策課へ

同時開催
かがしま
エコ企画展
◆時間
9時30分～18時

※会場へは公共交通機関をご利用ください

【環境政策課 216-1296】



12月は地球温暖化防止月間

「始めよう みんなも今日から 一日一エコ」

心掛ければ誰でもできる“エコドライブ”

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量を減らすには、ガソリンや軽油などの消費を減らす必要があり、環境に配慮した自動車の利用が求められています。

10月に開催したエコドライブ講習会では、受講者の皆さんがエコドライブを実践することで燃費が2割向上したことを体験しました。

◇地球と家計にやさしいエコドライブのポイント

- ふんわりアクセル～普通の発進より少し緩やかに発進する
- 加減速の少ない運転～車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な安定走行に努める
- 早目のアクセルオフ～エンジンブレーキを積極的に使う

◇受講者の感想

「今後、エコドライブに努めたい」という意見が多く、「教習所で習った基本を守ればエコドライブになり安全運転にもなる」との意見もありました



講習会では実地指導が受けられます



指導後の走行では燃費が約2割向上

心も地球も癒やされる“緑のカーテン”

「朝顔」や「ゴーヤ」など、つる性の植物を窓の外に這わせ、夏の日差しを和らげることで、室温の上昇を抑える「緑のカーテン」。今年度、かがしま市地球温暖化対策地域協議会が伊敷台中央町内会をモデル地区に指定し、84世帯が取り組みました。

■取り組み結果

◇気温は

- 緑のカーテンがある場所となない場所での温度差は平均1.7度、最大で7度の温度差が出た世帯もありました

◇体感温度は

- 葉影ができて涼しく感じた
- 緑のカーテンの内側と外側では、体感温度が全然違った
- 外からの視線をさえぎってくれるため、カーテンを閉める必要がなくなり、風が通りやすかった

といった報告がありました



※詳しい結果はかがしま環境未来館ホームページ(<http://www.kagoshima-miraikan.jp>)でご覧いただけます

地域の絆も深めた“緑のカーテン”

◇緑のカーテンは市電軌道敷の緑化と同じように、空間に潤いをつくりだしてくれました。

◇さらに、実をつけたゴーヤは近所におすそ分けするなど、人と人の関係も潤ってくれたと思います。

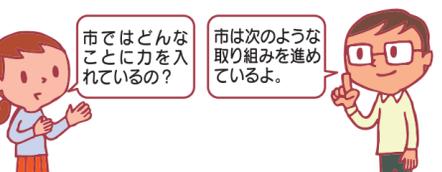
◇人と環境にやさしい緑のカーテンを一人でも多くの人に取組んでもらいたいですね。

三原 美智子さん (伊敷台中央町内会会長)

ゴーヤもできました



進めます 環境に配慮したまちづくり



市ではどんなことに力を入れているの？

市は次のような取り組みを進めているよ。

Q 市の取り組みは？

A 市では市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、平成23年度までに2年度に比べ、二酸化炭素などの温室効果ガスを8%削減するため、市民、事業者の皆さんと一緒に取り組みを進めているんだ。



本市が進める環境施策

- 市電軌道敷の緑化 ・屋上、壁面緑化
- 太陽光発電の導入促進
- かがしま環境未来館を拠点とした学習活動の推進
- エコライフファミリー事業などの市民や事業者の取り組みの支援 など

支援します 市民や事業者の環境に配慮した取り組み

■住宅用太陽光発電システム補助金

◇対象 自宅に住宅用太陽光発電システムを設置する人が発電システム付きの住宅を購入する人

◇補助単価 1kW当たり4万5000円 ※補助上限は発電出力3kWまで

◇申請期限 来年3月6日(消印有効) 【環境保全課 216-1297】

■植樹活動団体の募集

市有地で植樹活動を行う団体を募集します。

◇対象 5人以上で構成する市内の事業所や市民団体など

◇場所 桜島赤水町(0.1ha、0.2haの2区画)

◇募集団体数 各1団体(書類選考)

◇申し込み 植樹活動利用計画書を作成し、12月10～19日(消印有効)に〒892-8677山下町11-1生産流通課216-1340が環境政策課216-1296へ

■環境配慮促進資金

◇融資対象 低公害車購入資金やISO14001・エコアクション21・KESといった認証取得者を対象とした事業資金など

◇融資限度額 3000万円

◇融資利率 年2.25～2.75%

◇融資期間 運転資金7年以上、設備資金10年以上

◇保証料率(実質負担)は年0.05～0.38%

◇連帯保証人 原則として法人の代表者 【商工総務課 216-1324】



地球と家計にやさしい“エコライフ”

8%削減を目標にチャレンジ

◇水を出しっぱなしにしない、電気はこまめに消すなど、できることを心掛けました。

◇買い物にはマイバックを、出掛けるときは公共交通機関を利用するなど、環境によいことを考えて実践しています。

西 美砂さん 平 良くん (エコライフファミリー)

節水に心掛けましょう

買物のときはマイバックを

■エコライフファミリー

- ◇対象世帯 市内に1年以上住む2人以上の家族
- ◇取組期間 毎年7月～12月のうち4カ月
- ◇取組目標 電気・ガス・水道の使用量を前年比8%減(CO₂換算値)
- ◇申し込み 毎年5月に参加家族を募集
- ◇参加家族には記念品をプレゼント

【環境保全課 216-1298】

“環境に配慮した事業活動を”

事業活動による環境への負荷を低減するため、環境管理事業所認定制度を設けています。認定された事業所では電気や紙の使用量削減、グリーン購入などに取り組んでいます。

358事業所が認定されています

使用していない電灯や昼休み時は電灯を消す

書類のミスコピーの裏面利用

■環境管理事業所

◇環境管理とは 事業活動による環境への負荷低減のため、PDCA(計画立案～計画実行～計画の達成度の点検～計画の見直し)の一連のサイクルを繰り返すことにより、継続的に環境に配慮した活動を行うこと

◇認定要件 市の環境管理指針に基づき、適正に環境管理を実施していること

◇認定されると 本市の工事入札などの優遇措置が受けられるほか、市ホームページでも事業所名などを公表します

◇申し込み 毎年7月に募集 【環境保全課 216-1298】

知ってますか 地球温暖化



Q1 地球温暖化ってどういうこと？

A 地球は平均気温が15℃前後と、人間を含め、生物が暮らしやすい環境となっているんだ。これは二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスがあるからで、もし温室効果ガスがなかったら地球の平均気温はマイナス18℃になるんだよ。

でも温室効果ガスが増えすぎると、大気が熱をもっと吸収して、まるで温室のようになり、気温が上昇し続けるんだ。この現象を「地球温暖化」と言うんだよ。

18世紀の産業革命以降、石炭や石油など化石燃料の大幅な使用により、大気中の温室効果ガスの濃度は増え続け、地球の平均気温も急激に上昇してきたんだ。



Q2 地球温暖化が進むとどうなるの？

A 過去100年間(1906～2005年)の平均気温を見ると、世界で0.74℃、日本で約1℃、本市では2℃以上上昇しているんだよ。

地球温暖化がこのまま急激に進むと、熱中症の増加など健康への被害や干ばつ、洪水、台風などの増大、異常気象に伴う食糧問題の深刻化、生態系の破壊などが考えられるよ。

最近、市内でもハイイログケモやタカサゴ(グルクン)など亜熱帯の生物の生息が確認されているんだよ。

(写真提供:窪 健一さん)



市が購入します あなたの家のグリーン電力

◇対象 市内に住み、自宅などに太陽光発電施設を今年4月以降に設置した人で、グリーン電力を測定する「検定付メーター」を設置できる人

◇申し込みなど詳しくは環境協働課806-6666へ

ご存じですか グリーン電力制度

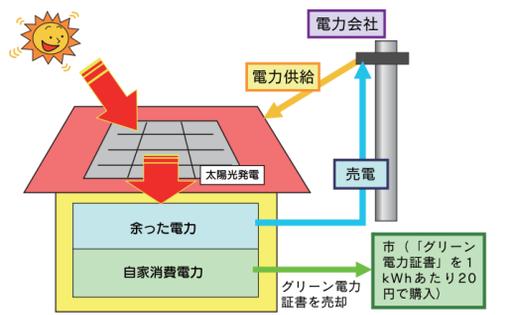
○グリーン電力を証書化する手続きなどのお手伝いをしています。

○全国でも先駆けともいうべきこの取り組みを、市民や事業者の皆さんにもぜひ知っていただき、少しでもその普及、浸透を図ってまいります。

塩川 哲郎さん (環境ネットワーク 鹿児島代表)

グリーン電力証書制度とは

太陽光などの自然エネルギーによって発電されたグリーン電力の自家消費分を証書化し、事業者などにその証書を売却。事業者などは証書を購入することで、グリーン電力を使用したとみなされます。温室効果ガスの削減に貢献できる制度として注目されています。



継続は力なり 今日からチャレンジ 環境にやさしい暮らし

■リビングでは

- ◇エアコンなどの暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定する
- ◇照明は省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光灯を使用する
- ◇人のいない部屋の照明はこまめに消灯する
- ◇見ていないテレビは消す

暖房の温度を1℃低く、冷房の設定温度を1℃高く!

CO₂ 約46kg 節約 約1,584円 削減 約1.4%

CO₂ 約83kg 節約 約2,850円 削減 約2.5%

■キッチンでは

- ◇冷蔵庫内の温度を調整したり、ものを詰め込みすぎないように整理整頓する
- ◇冷蔵庫は壁から間隔を空けて設置する
- ◇煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する

長時間使わないときには、コンセントからプラグを抜く!

電気、ガス、石油機器などを買うときは、省エネタイプのものを選ぶ!

CO₂ 約60kg 節約 約2,042円 削減 約1.8%

CO₂ 約219kg 節約 約7,486円 削減 約6.5%

■浴室・トイレ・洗面所では

- ◇シャワーの利用時間を1回あたり1分減らす
- ◇洗濯物は風呂の残り湯を使って、まとめて洗濯する

間隔を置かずに入り、追い焚きをしない!

シャワーのお湯は出しっぱなしにしない!

CO₂ 約79kg 節約 約6,036円 削減 約2.4%

CO₂ 約19kg 節約 約2,411円 削減 約0.6%

「省エネ基準」を達成しているかを表示するラベル。より省エネ性の高い商品には緑のラベルが付いています。

3Rのススめ～みんなで作ろう“循環型社会”

【リサイクル推進課 216-1290】

Reduce (リデュース=発生抑制)
...ごみを減らすこと

- 買い物にはマイバッグを持参
- 買い物に行く前に必要なものをメモ
- ばら売りの商品を選ぶ
- 必要なものを必要なだけ買う
- むだな包み紙はことわる
- すぐ使わなくなるものは買う前に考えてから
- 買い物が少ないときはシールですませる
- つめかえ商品を利用する

■ダンボールコンポスターでたい肥作り

- ◇ダンボールコンポスターはダンボール箱に土壌改良材(ピートモス)や腐葉土、もみ殻くん炭などを入れ、土壌微生物の力によって生ごみを分解し、たい肥を作ります
- ◇1日に約500gの生ごみを処理することができ、1カ月の熟成後、たい肥として使うことができます



家の中で手軽にできます



揚村 小夜美さん (ダンボールコンポスターモニター)

○友人からダンボールコンポスターのことを教えてもらったところに、市のモニター募集があったので、早速挑戦しました。
○毎日出る野菜のくずをかき混ぜるだけでとても簡単。臭いも気にならず、電気も使いません。できたたい肥は庭木の肥料に。ごみ減量にもつながり、わが家では大好評でした。

Reuse (リユース=再使用)
...使える物はくり返し使うこと

- びんはくり返し使うことのできるリターナブルびんを選ぶ
- 壊れたときは修理をして長く使う
- まだ使えるものは、ほかの人にゆずる



■リユース・リサイクルショップ

家庭で使われずに眠っている日用品などをポイントと交換し、そのポイントを使って未使用の日用品(茶わん・皿・タオルなど)や新品同様なもの(傘・おもちゃなど)と交換することができます。



ぜひご利用ください

■エコフリマ

ベビー用品や介護用品など不用になったものの譲りたい・譲ってほしいといった情報をかごしま環境未来館ホームページ(<http://www.kagoshima-miraikan.jp/recycle/ecoflema/index.php>)に掲載しています。ぜひご利用ください。

- ◇対象 市内に住む20歳以上の人(営利目的を除く)

【かごしま環境未来館リユース・リサイクルショップ 806-6663】

Recycle (リサイクル=再生利用)
...ごみを資源として再び利用すること

- 資源物はきちんと分別して、きれいなものだけを出す
- 再生材料を使っているものや「エコマーク」「グリーンマーク」商品など、環境にやさしいものを選ぶ
- 町内会やPTAなどの資源物回収への参加を



愛称: ストッピー 53gのダイエット

■地域みんなで資源物回収活動を

資源物回収活動を実施している団体に補助金を交付します。

- ◇対象 町内会やあいご会、PTAなどの営利を目的としない市民団体

- ◇補助金額 ①回収量に対して古紙類 6円/kg、金属類 3円/kg、古繊維類 3円/kg、空きびん類 3円/本



捨てればゴミ 生かせば資源

- ②実施回数に対して3000円/回 ※年に2回以上実施したときに2回目から対象となります。上限は1万5000円

- ◇補助金の交付を受けるには、毎年度団体登録が必要です

■啓発ビデオ・DVDの貸し出し

「3R(スリーアール)は地球を守る合言葉」をテーマに、3Rの大切さや、ごみや資源物のゆくえなどを分かりやすく説明したビデオやDVDを貸し出します。地域活動や研修などにご活用ください。



来年1月から罰則が適用されます

ごみステーションからのごみ・資源物の持ち去り行為禁止

ごみステーションからごみ・資源物(新聞紙・アルミ缶など)を持ち去ることは禁止されています。

- ◇禁止命令 持ち去り行為を行う人に市はその行為の禁止を命じることができます

- ◇罰則 禁止命令に違反した人は20万円以下の罰金(会社などの業務などとして違反行為を行ったときは、その会社なども罰せられます)



【リサイクル推進課 216-1290】

守ろう ごみ出しマナー

- ◇カセットボンベ・エアゾール缶は必ず中身を使いきって「もやせないごみ」へ ※中身が残っていると、ごみ収集車両の火災原因となることがあります



- ◇「プラスチック容器類」は油や食べ物のかなどを水洗いしてきれいなものだけを、一つの透明袋に入れて出してください
- ◇ペットボトルのふたははずして出してください。はずしたふたは「プラスチック容器類」で出してください

かごしま環境未来館

リサイクル工房リサイクル講座

日	時	講座名
12月12日(金)	13時~16時	廃材を使った正月飾りづくり
12月18日(木)	13時~16時	マイはし&マイはし袋づくり
12月20日(土)	13時~16時	廃材を使った干支の切り抜き
12月25日(木)	13時~16時	モーターで走るダンボール車づくり
1月7日(水)	13時~15時	レジ袋で凧づくり
1月15日・29日、2月12日(木)	10時~12時	アクリルたわし・マイはし袋・マイバッグづくり(全3回)

※材料や道具の準備が必要

- ◇対象 市内に住むが通勤する人
- ◇参加料 無料(材料費は実費負担)
- ◇申し込み 往復はがきかファックス、Eメールで講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を各講座の1週間前までに〒890-0041城西二丁目1-5かごしま環境未来館リサイクル工房806-6663 FAX806-8000、Eメール recycle@kagoshima-miraikan.jpへ



ペットボトルを使っておもちゃづくり

※リサイクル工房は講座の時間を除いてリサイクル作品づくりなどに利用できます。詳しくは環境未来館リサイクル工房へ

かごしま環境未来館

環境学習講座

宇宙人はいるか?

- ◇内容 生命と環境の大切さについて学ぶ
- ◇講師 根建心具氏(鹿児島大学理学部教授)
- ◇日時 12月21日(日)10時~12時

森いークリスマス!(郡山地域)

- ◇内容 パン焼きなどの野外体験活動を通して自然とともに暮らす知恵などを学ぶ
- ◇講師 柿木淑江氏(かごしま子ども文化の里代表)
- ◇日時 12月25日(木)10時~16時

春の七草を食べよう

- ◇内容 春の七草粥(がゆ)作りなどの活動を通して、先人の知恵を学び、人と自然の共生について学ぶ
- ◇講師 大原タツ子氏(NPO法人鹿児島県有機農業協会理事)、園山揖子氏(園山農園)
- ◇日時 1月8日(木)10時~13時

子どもエコクラブサポーター交流会

- ◇内容 子どもエコクラブの事例紹介と意見交換
- ◇講師 堀之内克行氏(きいれニコニコ若者クラブ理事長)
- ◇日時 1月10日(土)13時30分~16時30分

中小企業向けの環境経営(教育)講座

- ◇内容 「環境連想ゲーム」を活用して環境経営に貢献する仕事のやり方などを身に付ける
- ◇日時 1月16日(金)19時~21時
- ◇講師 大前慶和氏(鹿児島大学法文学部准教授)

冬の野鳥観察会(城山公園)

- ◇内容 野鳥観察を通して、当たり前の自然を見る中での発見や驚き、美しさなどを実感する
- ◇日時 1月18日(日)10時~12時
- ◇講師 本田洋氏(日本野鳥の会鹿児島県支部事務局長)

地球が100人の村だったら

- ◇内容 ベストセラー「地球が100人の村だったら」をもとに、地球全体のことを考える
- ◇日時 1月18日(日)13時30分~15時30分
- ◇講師 JICA(国際協力機構)職員

共通事項

- ◇対象 市内に住むが通勤・通学する人
- ◇定員 各40人(超えたら抽選)
- ◇受講料 無料(材料費などは実費負担)
- ◇申し込み 往復はがき(1人1枚)かファックス、Eメールで講座名、住所、氏名、年齢、電話・ファックス番号を各講座の1週間前までに〒890-0041城西2丁目1-5環境協働課 甲突川での自然観察会 806-6663 FAX806-8000、Eメール kankyo@kagoshima-miraikan.jpへ

